

## 4月の主な行事

4月1日(水) 辞令交付式 理事長訓示  
4日(土) 土曜利用日  
8日(水) 工賃支給日  
17日(金) 遠足会

## 4月誕生月のみなさん おめでとうございます

齋藤サト子さん 池田亜希子さん  
八巻裕幸さん 鈴木良子さん  
おめでとうございます。誕生会は、5月生まれの皆さんといっしょに5月に行います。お楽しみに。

# 令和7年度皆勤者をたたえる



出勤率100%達成!! 皆勤賞を受け取る永井勇基さん



皆勤賞を受け取る齋藤満さん(写真左)と  
本田真由美さん(写真右)

3月31日、令和7年度の最終日、帰りの会に出勤率100%利用者さんを称え、皆勤賞を贈りました。またこの日は皆勤賞授与に先立ち、1年間のご苦労分として全員に期末手当を支給しました。

帰りの会では、はじめに佐藤所長からあいさつがあり、利用者さんへ1年間の就労をねぎらい期末手当を支給し、皆勤者へ賞状を授与してお互いの1年間の仕事を称えあいました。みなさんご苦労様でした。

ごあいさつ

**新年度がスタートしました。社会福祉法人あぶくま福祉会中木理事長  
ほどはら授産所保護者会高橋会長、ほどはら授産所佐藤所長より、新年  
度にあたって、ごあいさつを申し上げます。**



## 新年度を迎えて



社会福祉法人あぶくま福祉会  
理事長 中 木 雅 彦

桜前線が北上し、福島県を通過し、この広報紙が発行される頃は東北中部まできたころでしょうか。皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、社会福祉法人あぶくま福祉会は、おかげさまで今年7月に創立37周年を迎えます。ここまで来るには多くの先人の皆様のご尽力があつてのこと、先人の皆様に感謝しながら理事長職を務めております。

小職は、一昨年7月理事長職に就任し、昨年再選いただき、通算1年8カ月が過ぎたところです。この間、法人運営について、小職、業務執行理事、施設長、管理者で組織する法人管理者運営会議を原則毎週行い、情報の共有、施設運営等について協議を行い、よりよい法人運営目指し、協議をしています。この会議は、その時々法人と施設の運営面や職員管理、事業実施に向け、今後も継続していきたいと思っております。

去る3月9日の理事会と23日の評議員会において、新年度令和8年度事業計画案と予算案を提案し、原案のとおり議決いただきました。施設運営にあたっては、各施設の長を中心に、職員が一丸となって魅力あるあぶくま福祉会の施設を魅力ある施設になれるよう心がけてほしいと思ひますし、当職も支援してまいります。その中で、職務遂行にあたっては、職員の皆様全員が就業規則の順守し、コンプライアンス意識を常に持って仕事にあたっていただくことが大事だと思っております。

法人全体の予算は財政厳しい中ではありますが、利用者さんへのサービスの質の向上を図り、利用者のための施設であり続け、社会福祉法人の使命である地域に開かれた施設として地域貢献、公益的事業の実施をしていく所存であります。

ほどはら授産所とだての郷には、PTA的な保護者会が組織され、それぞれの施設の運営にあたって車の両輪の片方の役目を担っています。保護者会の皆様には、施設へのより一層のご理解をたまわりますようお願い申し上げ、新年度スタートにあたってのごあいさつといたします。



## 令和8年度スタートにあたって

ほどはら授産所保護者会

会長 高橋みよ子

新年度がスタートしました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

日頃より当所運営に対しご支援ご協力ご理解いただき、厚く御礼申し上げます。

今年の目標は、健康という言葉に注目したいと思います。健康とは肉体的、精神的、そして社会的にもすべてが満たされた状態にあることと思います。心身ともにバランスのとれた充実した生活を送れること、一日3食取り入れることで活動に必要なエネルギーを補うことができます。

毎日利用者みなさんが笑顔で楽しく仕事ができるということは、健康であるということだと思います。

まだまだコロナ感染症、インフルエンザ、心配になります。引き続き予防に努めていただきたいと思います。

結びになりますが、当施設並びにほどはら授産所保護者会のますますの発展を祈念申し上げ、保護者会を代表してのあいさつとさせていただきます。

みなさんの笑顔が大好きです。

## 新年度スタートにあたって

ほどはら授産所 所長 佐藤典昭

令和8年度が始まりました。改めて皆様にご挨拶申し上げます。令和7年4月1日に着任して、1年が経過いたしました。令和7年度を振り返ると、瞬く間に過ぎたように思います。

前年度、着任のあいさつで「育」という言葉を述べましたが、日々利用者の皆さんよりいただく元気を源に、施設運営において少しは成長できたか、前進したか、時には助けられ、常に振り返る毎日でした。今年度の事業計画では、3つの重点目標を掲げました。1. 利用者支援の質的向上～個々のニーズに応じて家族や職員、相談支援事業所と連携した支援を図ります。2. 生産活動～作業能力向上を図り、生産活動収入目標 1,230 千円を目指して利用者皆さんに支給する工賃額をアップできるよう取り組みます。3. 日常生活面では、利用者皆さんの感染症予防や災害・事故防止に努めて、行事等も織り交ぜて行いますので、休まないで通所いただけるように支援を図って参ります。

継続して「そだつ・そだてる・はぐくむ」＋「みのり」の思いで、今年度も着実に育て、少しでも実りある成長を目指しますので、利用者の皆さん・保護者・家族・職員・地域皆様のご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

# ほどはら授産所作業班 令和8年度活動方針！



作業班担当から、今年目標や活動の方針をお伝えします。本年度もよろしくお願ひします。

## ダンボール班



令和8年度、みなさん元気にスタートしました。

本年度も男性5名・女性4名・シルバー職員2名の体制で、保原町工業団地内「王子コンテナ株式会社」様より仕切り組立と靴箱貼り合わせの作業に従事していきます。

今年度も物価上昇や世界情勢の不安定さのあおりを受け、受注数がきびしくなると予想されますが、自分の作業に責任を持って、みんなで仲良く取り組んでほしいと思います。利用者さんそれぞれに得意・不得意がありますが、得意分野で自信をつけ、苦手分野にも少しずつチャレンジしていけることを期待しております。

今年もみなさんが怪我・病気などなく安定して活動できること期待します。

どうぞ、よろしくお願ひいたします。

(担当：職業指導員 熊坂正俊)

## 農耕園芸班



令和8年度の農耕園芸班では、3月から春夏のマリーゴールドやサルビアなどの植替え作業を始めており、6月末まで植替え、管理、納品など繁忙期をこれから迎えようとしています。秋冬はパンジー・ビオラ・つりがねそうなどの栽培を計画しております。

園芸作業を行う利用者の皆さんは、たくさんの植替え作業や、花苗の運搬・納品苗揃え準備・ポットの汚れ取り、環境整備などの屋外作業に根気強く、夏の猛暑にも負けず力強く取り組んでいただいております。今年度も利用者様の健康・安全に注意し、利用者様の大きい活躍に期待しております。地域の皆様に喜んでいただける花苗栽培を目指してまいります。

(担当：職業指導員 松浦幹樹)

## 手工芸班



手工芸班の作業は、温泉タオルの袋入れ作業、トイレペーパー包装の作業、フルーツキャップの作業を行っております。利用者の皆さんは毎日忙しく作業に取り組んでおります。

皆さん得意な作業の時は、目が輝き 作業速度も速くとてもスピーディーに作業を行っており、とても頼もしいです。

温泉タオルの作業が簡素化（歯ブラシ無し）になったことで、作業工程をすみやかに進めることができるようになったこと・トイレペーパー包装は、ひとりで全過程を行う事が出来るようになったこと、フルーツキャップの作業は皆さんが出来るようになったことで、今までは作業の工程の中で待ち時間が出てしまっていたのですが、待ち時間は、違う作業を行うなどとても効率よく作業が出来るようになりました。

これから、ますます忙しくなりそうですが、皆さんが笑顔で作業出来るよう配慮していきたいと思っております。最近、少人数で作業を行って頂いたためか、今まで以上に自分の作業にプライドを持って取り組む姿が見られうれしく感じております。

令和8年度の手工芸班の活躍を期待していただきたいと思います。よろしくお願いたします。

（担当：生活支援員 管野富江）

## リサイクル班



春風のさわやかな季節を迎え、新年度リサイクル班の作業が始まりました。

リサイクル班の利用者さんには、第一に一年間、病気や怪我に気をつけて生活し、元気に出勤していただくことを望みます。

さて、今年度の作業内容としては、引き続き弱電子機器の分別・分解を行うリサイクル作業と介護ベッド等をはじめとする福祉用具の洗浄作業を行っていきます。

作業としては、洗浄作業では、今後も福祉用具の需要増加が長期的に続くと思込まれます。一方、リサイクル作業では、リサイクルのニーズに応じた新たな作業が加わる可能性もあります。作業は、一人で行うことができる作業と班の仲間同士協力しあいながら進める作業があります。個人ごとに得意・不得意があると思いますが、それぞれの適性を活かしながら安全に作業を進めることを目標とし、皆と仲良く一丸となって作業を進めていくことができる一年間になることを期待しています。

リサイクル班の利用者皆さん、工賃向上に向けて1年間頑張りましょう。

（担当：職業指導員 八巻義博）

# 2月3月生まれ誕生会 ひな祭りに合わせて行う！



整列した誕生者の皆さんたち



乾杯のあいさつをする大橋千晴さん

3月3日、午後の作業を早めに切り上げて2月3月生まれ利用者の誕生日を祝う誕生会とひな祭りを祝うつどいを開きました。初めに佐藤所長からお祝いの言葉があり、みんなで♪ハッピーバースデーを歌って、2月と3月に生まれた利用者7名の皆さん

を祝福しました。そして、ひな祭りに合わせて「うれしいひなまつり」を歌って、大橋千晴さんの乾杯の発声で飲み物とケーキをいただき、みんなで誕生者とひな祭りを祝いました。

令和7年度利用者さんの誕生会は、今回で全員をお祝いすることができました。皆さん、おめでとうございます。新年度も基本2月に1回の日程で誕生会を行います。（誕生月によって該当者がいない場合、日程調整をして行います。詳しくは年間スケジュールを参照してください）利用者の皆さん、お楽しみに。

グループホーム  
スクラムだより

## 今年のグループホーム運営方針！

春のやわらかい陽ざしが心地よい季節となりました。令和8年新年度がスタートしました。年度初めにあたりご挨拶を申し上げます。前年度嬉しいニュースが2つありました。1つ目は、約1カ月の体験入所を経て新メンバーが1人増えたことです。慣れない環境で戸惑いや心配があったようですが、入所されている利用者さんからの気遣いの声かけや温かい受け入れの気持ちがあり入所につながりました。現在7名の利用となり賑やかに楽しい様子で生活しています。利用者の皆さんには、これからもお互い助け合う優しい気持ちで生活して欲しいと思います。2つ目は、車輛を新しく購入したことです。8人乗車できる車両で、室内の広さも十分です。今年度、利用者さんの外出や余暇活動に活用し、みなさんが楽しめる機会を増やしていきたいと思います。

今年度もスタッフ一同、利用者さんに寄り添いながら、利用者さんの「出来る」が増え「自立」が進むよう、そして、「一人一人が自分らしく、楽しい生活となりますよう」支援して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（担当：グループホームスクラム サービス管理者 鈴木信行）